学校だより

四賀小学校　　No.7　R8.9.25

徐々に心地よい風が感じられ，過ごしやすい気候となりました。

９月18日に前期が終了し、昨日から後期が始まりました。大きな区切りは，子どもたちにとっても，自分を見返したり新しい目標を立てたりと，チャンスの時でもあります。めあてに向けて，精一杯取り組み，日々成長していく子どもたちを支えていきたいと思います。

防災月間の取り組み



９月は防災月間です。自然災害は、いつ、どこで起こるか分かりません。学校では、「自分の命は自分で守る」ために必要な知識や行動の仕方について学ぶ機会を設けました。この機会に、ご家庭でも避難場所や避難経路、災害時などの連絡方法などを確認し、いざというときのために備えていただければと思います。

〈1日　防災避難訓練〉

９月１日に，地震を想定した防災訓練を行いました。今年は、地震が発生した後に「放送器具が使用できなくなった」「廊下で物が倒れて、通れない箇所がある」も、想定して避難訓練を行いました。いつまでも放送が入らない状態から、私たち職員も子どもたちも、災害が発生した時には、ただ指示を待つのではなく、自分達で考え行動することが大切と感じることができました。また、いざ避難を開始してみると、いつもの避難経路が通れない事態となっており、「避難経路は大切だが、絶対ではない」ということにも、気づけることができました。より安全に校庭に避難するには、どんな経路がいいのだろうかと子どもと考えながら避難したクラスもありました。災害は，いつ発生するか分かりません。地震の後に続けて火災など，複合的な災害が起こる可能性もあります。避難訓練をきっかけに，様々な場面を想定しながら自分の身を守るにはどうしたらよいか，考えていきたいと思います。また、この日の給食は防災食として救給カレーを食べました。封を開けそのまま食べられるカレーを実際に食べ、防災について考える一日になりました。

〈7日　6年　避難所で自分達ができること〉



学校運営協議会の皆様と6年生が，四賀小学校に避難所が開設された場合を想定して，「自分達にできること」を考えました。「避難所生活」という実際には経験したことのない生活を想定して考えることには難しさがありましたが，学校運営協議会の皆様のアドバイスを聞きながら，「咳が出て苦しいって言っている人は、保健室で休んでもらえればいいんじゃない。」「体育館の床が固いって言われたら，運動用のマットを使ってもらえればいいのかも。」などと，四賀小学校に一番詳しい6年生らしく知恵を絞り考える姿がありました。子どもたちからも「自分達でもできることを考えて、小さな事でもいいから、避難しているみんなのために動けるようになりたい。」「避難所には言いたくても言えないことや、相談したい人がいるかもしれないから、話しかけてみたいと思った。」など，お互いを助け合う共助の精神に気付くことができました。

〈25日　四賀小防災の日〉

昨年度に引き続き，25日を「四賀小防災の日」として，様々な地域の方と触れ合いながら，防災について考える活動を行いました。諏訪市消防団第6分団の方々による消火訓練を見学した後，低学年は消防車車両の見学をしました。また，3･6年生は，直接分団や消防署の方と交流をしながら，社会科やキャリア教育の学習を行いました。4年生，5年生も，市役所危機管理市民安全係の方や，日本赤十字社長野県支部の方々に来校いただいて，体験型の防災学習を行いました。この日は，子どもたちにとって防災の意識を高めたり，自助，共助，互助の精神を育んだりして，地域社会と協力して防災に取り組んでいこうと考える一日となりました。

校長講話より　前期終業式（9月18日）



おはようございます。この画像は何のスポーツかわかりますか。 日本代表が優勝して、オリンピック出場を決めたんです。さて、この選手、強烈なスパイクを決めて、雄たけびを上げています。今日はこの男子バレー日本代表・西田有志選手に注目して、“人としての強さ”についてお話ししたいと思います。

西田選手がスパイクを決めて雄たけびを上げた瞬間。見ている私も熱くなりました。とても気持ちの強い選手だと思いました。でも、あの雄たけびは、ただの喜びではありません。熱い熱い気持ちの裏側にある西田選手の本当の強さがあふれたのです。西田選手の本当の強さとは何なのでしょう。

強さ① なかまをまもるやさしさ。 西田選手は、仲間がミスしたとき、絶対に責めません。すぐに声をかけて、仲間の心を守ります。「ミスしていい。俺が取り返す」「次いこう。お前ならできる」 これは、ただ優しいのではなく、仲間の力を信じて、前を向かせるための言葉です。 そして、自分がケガで苦しい時には、若い選手に声をかけ、チームを明るくしようとしました。「俺ができない分、みんなが輝いてくれたら嬉しい」 苦しい時ほど、誰かを支える。これが、西田選手の“本物のやさしさ”です。

強さ② じぶんをつくりなおすどりょく。 西田選手は、もっと強くなるために、日本代表を一度離れて“自分を作り直す”ことを選びました。「走り方やジャンプのしかたを、いちど全部ばらばらにして、もう一回つくり直したい」 足の出し方、ひざの曲げ方、手の振り方、体のひねり方。 できているように見えるところを、もう一度いちからやり直しました。 できていることを、もう一度見直す。これが、西田選手の努力です。

強さ③ じゅんびをたいせつにする。 西田選手は、“準備の質”を極限まで高める人です。 準備とは、体・心・頭・チームの方向性を整えること。 体の準備では、睡眠・食事・ケアを徹底し、ケガをしない体をつくる。 心の準備では、今日大事にすることを決め、苦しい場面でどう振る舞うかをイメージする。 頭の準備では、相手の特徴を分析し、自分たちの戦い方の軸を整理する。 流れが悪くなった時の修正案も持っておく。 そして、チームの準備。みんなが同じ方向を向けるように声をかけ、キャプテンとして雰囲気を整える。 この準備が西田選手の強さなのです。

「準備の質が、最後の １ 点を取り切れるかどうかを決める」「準備をサボらない人が、最後に強くなる」 やさしさ、努力、準備。この ３ つの強さが、あの雄たけびを生み出していたのですね。

西田選手の強さを知った校長先生は、あることに気づきました。 前期の四賀小にもやさしさ、努力、準備がありましたね。泣いている １ 年生に寄り添う ６ 年生の姿。 学習で、友だちにそっと教える姿。 運動会で、仲間を励ます姿。人の話を最後まで聞こうと体を向ける姿。 合唱団が、歌声をていねいにそろえていく姿。 この間 ６ 年生は、避難所で困っている人がいたらどうするのかを一生懸命考えていましたね。

どれも、西田選手のやさしさ、努力、準備と同じ強さです。 これに気が付いたとき、校長先生も思わず雄たけびをあげそうになりました。 四賀小のみなさんはすごいです。後期もがんばってほしいなと思いました。
今日は西田選手の強さのお話でした。





３日　南部研修会

年に3回南部地区（諏訪南中・中洲小・四賀小）の教職員が集まり、研修会を行っています。そこでは、「友だちと関わり合いながら、自分の考えを友だちの考えと関連付け、再構築していく子どもの育成（学び合い）」を目指し、授業参観を行って意見交流を行ったり、講師を招聘し講演会を聴講したりして、研鑽を積んでいます。9月3日は、本校が会場校となり、いくつかのクラスが授業公開を行いました。どのクラスも、自分なりの考えを導き出そうと、友だちと関わったり、悩んだりしながら、一生懸命に追究している子どもたちの姿を参観していただきました。その後の職員同士の意見交流では、中学校の先生の見方、他校の先生の見方も共有でき、子どもたちの素敵な姿をたくさん教えていただきました。この日の成果を、今後の授業にも活かしていきたいと思います。



３年　歯の講演会

3年生は，8日に学校歯科医の増澤先生にお出でいただき「歯の講演会」を行いました。実際におやつを食べながら，むし歯の成り立ちと，むし歯になりにくいおやつ選びについて考えました。子どもたちは，実験としてクッキーとスルメを食べ比べ、口の

中の様子を観察して、咀嚼の回数が口の中の健康に影響していることに気付くことができました。増澤先生に積極的に質問をしている子もおり、自分の体を大切にしていくためにはどうしたらいいか、考えることができました。

フォトギャラリー　～みがこう　〇知恵　〇心　〇体～



１年生
長さくらべをしたよ



２年生
サツマイモ　草取りしたよ



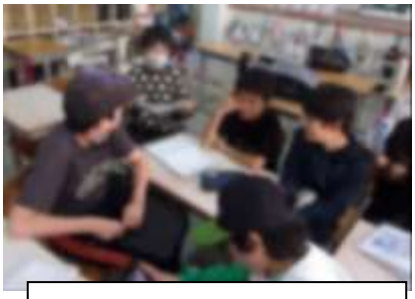
３年生　　栄養士の牛山先生から、朝食について教わったよ



４年生
音楽会の練習が始まったよ



５年生
夏休みの成果を発表しました



６年生
修学旅行に向けての係活動

お知らせ・お願い

〇リーバー配信について

急な学級閉鎖や，災害の対応などリーバーにてお知らせする機会があります。特に急な天候の変化等の際には携帯に届くお知らせに目を通していただきますようお願いします。また，出欠連絡は，当日の朝 8:10までとさせていただいております。それ以降のご連絡は，学校に直接お電話にてご連絡いただきますようお願いいたします。また，前日にご入力いただいたものは，翌日の欠席には反映されませんのでご注意をお願いします。

〇四賀小学校 HP ダウンロード欄をご利用ください

季節の変わり目ということもあり，体調を崩すお子さんが見られます。諏訪郡内においても，インフルエンザや新型コロナウィルスなど様々な感染症の罹患者が見られています。医療機関を受診し、インフルエンザに罹患したことが認められた場合は、早めに学校にご連絡ください。また、罹患した後に治癒して登校する際は、治癒証明書が必要となります。これは、保護者の方にご記入いただくものです。「治癒証明書」は、【諏訪市ポータブルサイト>四賀小学校>各種ダウンロード】に格納してあります。こちらをダウンロードしてご利用いただいても、学校に取りにきていただいても構いません。出席停止期間についての説明文も格納いたしますので、ご確認をお願いします。

また、同じ場所に、〔ラーケーション申請書〕も格納してあります。必要に応じ、ご利用ください。

学校では，いつでも相談を受け付けております。
心配なこと，不安なことがありましたら，お気軽にご相談ください。



相談窓口

☆学級担任　　☆特別支援教育コーディネーター（小林・前島・森本）
☆養護教諭（宮﨑）☆教頭（百瀬）〈SC 窓口〉
※SC 古林先生訪問予定日　　１０月６日（火）・１０月２１日（水）・１１月５日（木）・１２月８日（火）
１月２１日（木）・２月９日（火）・３月８日（木）　いずれも午前中